

ぴっころ

～子育て支援センターには楽しいことがいっぱい～



※揖斐川子育て支援センターは、子育て中のお父さん、お母さん、妊婦さん、おじいさん、おばあさんどなたでも利用できる場所です。気軽にお出かけください。

- ◇通信ピッコロを中旬に発行しています。
図書館・公民館・保健センター・役場・振興事務所などに置いてあります。
- ◇ホームページ
揖斐川町 <https://www.town.ibigawa.lg.jp>
揖斐幼稚園 <http://www.ibi-youchien.ed.jp>

揖斐川子育て支援センター

揖斐川町上南方 193 TEL 23-1136
開館日 月曜日～金曜日・第3土曜日
9:00～16:00

- ◎町内の幼稚園 なかよしタイム
毎月第2・第4水曜日
各幼稚園にお問い合わせください。
- ◎揖斐幼稚園の開放日
2月14日(水)
直接幼稚園へお申込みください。
TEL 22-6008 (当日可)

2月の活動予定

行事の申込みは、前月第3水曜日より実施日前日まで受付けています。(電話予約不可)

日	月	火	水	木	金	土
				1 ベビーマッサージ	2 豆まき	3
4	5	6 出前保育 (清水公民館)	7	8 歯科指導	9	10
11 建国記念日	12 振替休日	13	14	15	16	17 開館日
18	19 年齢別交流 りんごグループ	20 年齢別交流 いちごグループ	21 年齢別交流 さくらんぼグループ	22	23 天皇誕生日	24
25	26 親子体操	27	28 年齢別交流 ひよこグループ	28 リコーダー演奏会 誕生日会		

「2月の年齢別交流」

同じ年に生まれたお子さんと親さんの交流の時間です

- 🍏りんごグループ (2020.4.2生～2021.4.1生)
- 🍓いちごグループ (2021.4.2生～2022.4.1生)
- 🍒さくらんぼグループ (2022.4.2生～2023.4.1生)
- 🐣ひよこグループ (2023.4.2生～現在)

「おひなさま制作」



子育て支援センターは、子ども(0～18歳未満)に関するあらゆる相談窓口です。
一人で悩まないで気軽にご相談ください。

- ◎育児相談は毎日、子育て支援センターで直接受け付けています。
- ◎行事など変更、中止になる場合がありますので、事前にお問い合わせください。

揖斐川町は、住民の皆さんの子育てを応援しています。 ～子育て支援センターの紹介～

西濃学園・揖斐川中学校・揖斐高等学校生徒さんとの交流 ～おにいさん、おねえさんと遊んだよ～

揖斐川中学校3年の生徒さんと“乳幼児ふれあい体験”を行いました。お家の人と離れて、泣いている子もいましたが、思いっきり遊んでもらえたことで笑顔になる子もいました。手作りおもちゃで遊ぶ姿や、泣く子を抱っこしてあやす姿など、生徒さんの一生懸命な姿をたくさん見ることができました。「家族以外に我が子を可愛がってくれる人がいて、嬉しかったです！」と話されるお母さんもいました。生徒さんだけでなく利用者親子にとっても貴重な体験となりました。



クッキーづくり～西濃学園～



寝たよ～♪



触れ合い体験～揖斐川中学校～



ミニクリスマス会～揖斐高等学校～



子育てちゃんねる

～感覚過敏って？～

周囲には分かりにくい「感覚過敏」。わがまま、我慢や努力が足りないなど誤解されてしまうこともあります。子どもが感じている辛さや困難さに気づき、寄り添うにはどうしたらいいのか考えていきましょう。

感覚過敏とは、光や音など特定の刺激を過剰に強く感じてしまう状態のことを言います。多くの人が気にも留めないわずかな刺激が気になったり、苦痛に感じるほど過剰に反応してしまったりするため、日常生活にさまざまな困難が生じやすくなります。視覚と聴覚など複数の感覚に敏感さがある子も多く、また感覚過敏のある子は同時に刺激への反応が鈍い感覚鈍麻を併せ持つこともあります。発達障がいの中でも自閉症スペクトラム症（ASD）の子に感覚過敏が併存するケースは多く見られますが、感覚過敏のある子がみんな発達障がいであるわけではありません。どんな状況でどんな姿を見せるかよく観察し把握しておくことが大切です。お子さんの様子が心配だと思われる時は気軽にご相談ください。



お問い合わせ・相談は、いびがわアップル（TEL23-1139）まで

「こんななはこ、もってきたよー」きょうはなにをつくらうかなあ？朝、子ども達が登園してくると、こんな会話が聞こえてきます。家にある空き箱などの廃材を園に持ってきて、友達や保育士と一緒に、自分のイメージした物を作っては楽しんでいます。

室内遊びをする中で、自分たちの欲しいもの、必要な物を考えて形にしようとする姿が多く見られるようになり、さまざまな素材に触れて制作するようになってきました。

特に秋頃からは、自然物も取り入れるようになり、ドングリ転がしや、まつぼっくりのけん玉などを作って楽しみました。ドングリ転がしでは、通り道の角度によってドングリが転がり落ちるスピードの変化に気づいたり、ゴールに缶を置き、いい音が鳴るにはどうしたら良いのか考え、高さの調節をしたりするなど、子ども達からのアイデアがたくさん出るようになってきました。また、5歳児はグループ毎にどんな物を作りたいか相談し、設計図を作ったり、考えを出し合ったりして、工夫しながら遊びを進める姿が見られるようになってきました。

その後は、劇遊びで使う自分の小道具を作ったり、お店屋さんごっこなどのごっこ遊びで使う品物を考えて作ったりと、日々の活動の中で子ども達の遊びがどんどん発展しています。

これから、子ども達のアイデアや工夫を認め、尊重しながら、自分たちで作って出し、楽しさが味わえるように、見守っていききたいと思います。

「廃材遊び」

～おじま幼稚園～

うきうき園キッズ！

